和歌山県立日高高等学校

SGH 通信

第５号

２０１８年１０月３日

２学年校外研修

９月１４日（金）、ＳＧ課題研究Ⅱ（２学年総合的な学習の時間）の一環で、延期になっていた校外研修をようやく実施できました。４テーマのうち、今回は「地域文化」「地域防災」の研修概要を紹介します。

インタビューの様子

地域文化

研修場所
- 和歌山県立博物館
- 和歌山県立図書館
- イオンモール和歌山

地域文化の研究は、方言・道成寺・金山寺味噌・観光地・国道など多岐に渡っています。そのため和歌山市内ではグループ別研修を実施しました。図書館で調べ物をするグループもあれば、イオンモールでインタビュー調査をするグループもあり、それぞれで目的意識をしっかり持って取り組みました。

地域防災

研修場所
- 美浜町松原地区高台津波避難場所
- 和歌山県庁南別館防災センター
- 日高高校（講演会）

津波避難場所にて

上記２施設の見学と、御坊市民の防災意識を調査研究された松本隆史氏（御坊市在住）の講演というスケジュールで研修を実施しました。午前の施設見学では、地域や和歌山県の防災対策について学びました。午後の講演では、御坊市民の防災意識の現状を学習した他、各班の研究テーマに関するアドバイスを得ることができ、とても有意義な研修となりました。

★地域防災班・生徒報告書より★

午後の講演では、防災力ＵＰのためには人と人との繋がりが大切だと学びました。今、御坊地域は祭りの季節です。御坊地域の人々は昔から祭りや地域のイベントを大切にし、たくさん参加しています。私たちが取り組む防災とは、一見離れているようで、実は防災力を高めるための良い傾向を普段から築いているのではないかと思いました。また、今私たちのグループが総学で作成している英語版のＨＵＧを使って外国の方方と交流することも、お互いの防災力ＵＰに繋がっていくのだと感じました。これからも地域のイベントや祭りにどんどん参加し、繋がりを大切にしながら防災力を高めていきたいと思います。（２年４組芝﨑理紗）